

10年に1回はこれからの人生を考えよう

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今日は勉強の仕方についてお話します。女性は5の倍数で人生を考える方が多いと言われています。例えば、25歳になったから、30歳になったから、35歳になったから...と、5の倍数で人生を考えます。そのように人生を考えるので、女性は男性に比べ寿命が長いとも言われます。

そこで、私が提案したいのは、男性も女性も10年刻みに、つまり10年に1回はこれからの人生をどう過ごすかを考えてはどうかということです。これから先の10年間の過ごし方が明確にれば、非常によい10年間を過ごすことができます。一方で、はっきりしないままに生きると病気になったりしますので、これからの10年間を考える勉強をする必要があります。

具体的には、はじめの2～3年は、これからの10年間をどのように過ごすかを考える準備期間にした方がよいと思います。1つは仕事のことで、1つは健康のことです。基本は、いつまでも若々しく生きるということが大事になります。仕事については、世界がどのようになっているか、日本がどのようになっているか、栃木県がどのようになっているか、自分の従事している仕事の業界がどうなっているか、これらの5～10年先の流れをよく読み考えた上で、仕事を選んだり仕事の仕方を考えたりすると、そんなに大きな失敗はしないと思います。

そのために大事なことは、新聞を毎日読むことだと思います。先日、小泉さんがラオスに行っているいるなことを決め、中国、韓国、日本は、ASEANの国々やインドなどとの貿易を非常に促進するというお話をしましたが、これを聞いてこれから先自分はどうするかを考えた方がよいですね。アジアの経済共同体ができると、中国のWTO加盟は10～20倍以上の影響を、日本・栃木県・自分の業界が受けるわけですから、そのとき慌てないで済むように考えておいた方がよいと思います。逆にいうと、そのような所で仕事をする可能もあるわけですから被害者意識ではなく、もっと色々なことができるチャンスが生まれると積極的に考えた方がよいですね。それには、コンピュータの知識や英語力が必要になってきます。

もう1つは、若々しく生きることが大事だということです。日本は毎年医療費や福祉費が毎年1兆円ずつアップしています。それが原因で、国家財政が壊滅的状况にあります。消費税を上げ続けて15%までにする、国民総生産を毎年2%ずつ上げていく、これをクリアしても大変な状況にあるわけです。そこで、できる限り病気にならずに、元気に生き続けることが大事になります。1人あたりにかかる医療費が、日本は世界で一番高いと言われています。また、福祉に多くのお金を使っているのが日本です。このままでいくと子孫に負担がかかるわけですから、できるだけ医療機関にお世話にならずに一生過ごせるように、自分自身を律していくことです。とにかく楽しく生きることです。自分のやりたいことはどんどんやって、体を鍛えて楽しく生き、その結果できるだけ若々しく生きて、最終的には国家財政、地方財政の負担にならないような生き方をすること考えた方がよいと思います。

あと一か月で新年ですので、新年の計画を立てて病気にならないように、お医者さんの世話にならないようにしていただきたいと思います。もし可能であれば、65歳を過ぎたらもう一度大学に行くことをお勧めします。皆さんのような人生経験豊かな方に来ていただければ、学生のためにもなり、先生方も緊張感を持ち走りますから、大学がよくなるのです。ですから、ぜひ聴講生になって下さい。近くにある大学にお問い合わせいただき、来年はぜひ学生になって下さい。そして、仕事をして1円でも多く稼いで税金をいつまでも払い続け、最小限度の医療を受けながら死を迎えるという生き方が素晴らしいと思います。子や孫につけを残さないように生きる、不要な医療費や介護の世話にならないように生きることを、死の前日まで努力していただきたいと思います。

これからの若い世代のために、このような観点からもお考え頂きたいということで、手帳を買い求めて、来年の計画を今月からお立てになるようご提案申し上げます。